

# JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

## 5. Kiberaスラムの給水所(水キオスク)の設置(ケニア)

- 実施団体: Women Promotion Centre (WPC) (#256)
- 費用: 1,710ドル (JWFファンド1,000ドル、団体710ドル)
- 受益者数: 1,000人
- 実施地の水問題:

Kiberaスラムの女性や子どもたちは、近隣の水源が汚染されているため、水販売業者から水を購入しているが、遠くまで歩き、行列に並ぶ。彼らは、水を得る道中で男性からの暴行を受ける、帰宅が遅くなると家庭での暴力にあうなどの被害が出ている。水は高額で家計の約2割を占めるが安全な水である保証はない。頻繁な腸疾患による治療費の負担増で、貧困状態から抜け出すことが難しい。



Kiberaスラムの汚染された水源



水汲みの順番を待つ子どもたち

- 主な活動内容: 関係者との準備会合、地域共有の給水所(水キオスク:貯水タンク2基(10,000L))の建設、WASH促進委員20名へのトレーニング、維持管理委員会の設立等
- 特長(持続性): トレーニングを受けたWASH促進委員たちが設備の使用の仕方を住民たちに伝え、維持管理委員会は設備が故障した際の修理を担当する。タンクの水はナイロビ州上下水道公社が供給する。

これらの活動により、給水環境が改善され、女性や子どもを取り巻く環境の向上が期待される。

# JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

## 5. Kiberaスラムの給水所(水キオスク)の設置(ケニア)

### 実施中の様子



関係者との準備会合



WASH促進委員への  
トレーニング

### 現場からの声(抜粋)



Oliver Mwanziさん  
(48歳、利用者委員会のメンバー)

私は果物を売っていて、商品を洗うために大量の水を使います。この設備が出来る前は、遠くまできれいな水を汲みに行っていました。今ではキオスクで水を得ることが楽しみで、水を汲みに行っている間に店を離れる必要もなくなったので、収入が上がりました。



Vanessa Kalaiさん  
(36歳、設備の利用者)

これまで汚れたKibera川の水を使っていたので、家族のほとんどがよく病気になっていました。家の近くにこの設備が出来てきれいな水が手に入るようになってとても嬉しいです。

### 実施後の様子



設置した貯水タンク2基



水キオスクを利用する住民たち